



UPS 動作モード（各種機能）変更手順書

2022年4月27日

UPS ソリューションズ株式会社

文書名	UPS 動作モード (各種機能) 変更手順書	版数	1.0	作成者	UPSS 菅
-----	------------------------	----	-----	-----	--------

●変更履歴

版数	日付	変更内容
1.0	2022/4/27	新規作成

文書名	UPS 動作モード (各種機能) 変更手順書	版数	1.0	作成者	UPSS 菅
-----	------------------------	----	-----	-----	--------

1. ログイン

Web ブラウザより該当 UPS の IP アドレスを入力下さい。
以下画面が表示されましたら、ユーザ名・パスワードを入力頂き
ログイン下さい。

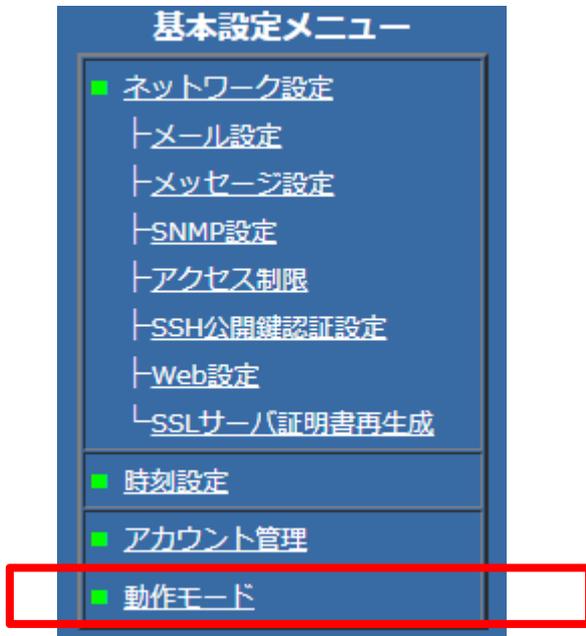


The image shows a login screen for 'Advanced NW board II'. The title is displayed in a large, stylized, blue and yellow font at the top. Below the title, there are two input fields: 'ユーザ名:' (Username) and 'パスワード:' (Password). Below these fields are two buttons: 'ログイン' (Login) and '暗号化ログインへ' (To encrypted login).

文書名	UPS 動作モード (各種機能) 変更手順書	版数	1.0	作成者	UPSS 菅
-----	------------------------	----	-----	-----	--------

2. 基本設定メニュー

アクセス後、画面左のメニューバーより、以下「動作モード」をクリック下さい。



文書名	UPS 動作モード (各種機能) 変更手順書	版数	1.0	作成者	UPSS 菅
-----	------------------------	----	-----	-----	--------

3. 動作モード

SSH サーバ機能等、起動/停止状態を切り替える機能をラジオボタンで選択します。

切り替えを実施したら「設定」ボタンで反映します。

機能の起動状態の切り替えの反映に再起動が必要な場合、「再起動」メニューから再起動を行います。

■ 動作モード

項目	選択	状態
FTPサーバ機能	<input type="radio"/> 起動 <input checked="" type="radio"/> 停止	起動
SNMPエージェント機能	<input type="radio"/> 起動 <input checked="" type="radio"/> 停止	起動
ホスト監視機能	<input type="radio"/> 起動 <input checked="" type="radio"/> 停止	起動
一括管理機能	<input type="radio"/> 起動 <input checked="" type="radio"/> 停止	起動
Telnetサーバ機能 <small>起動、停止は再起動後に有効になります</small>	<input type="radio"/> 起動 <input checked="" type="radio"/> 停止	起動
Httpサーバ機能 <small>起動、停止は再起動後に有効になります</small>	<input type="radio"/> 起動 <input checked="" type="radio"/> 停止	起動
Httpsサーバ機能(SSL) <small>起動、停止は再起動後に有効になります *1</small>	<input type="radio"/> 起動 <input checked="" type="radio"/> 停止	起動
sshサーバ機能 <small>起動、停止は再起動後に有効になります</small>	<input checked="" type="radio"/> 起動 <input type="radio"/> 停止	起動

httpsを起動させても、BOARD再起動後に停止に戻る場合はサーバ証明書が作られていません。
 *1 証明書は本ボードの時刻が正しく設定されいるとボード起動時に作成します。
 時刻を正しく設定し、本ボードを再起動してください。

■ 再起動/パラメータ保存/読出/初期化

設定

文書名	UPS 動作モード (各種機能) 変更手順書	版数	1.0	作成者	UPSS 管
-----	------------------------	----	-----	-----	--------

4. 再起動

起動/停止の切り替え反映のためにボードの再起動を行います。

「再起動/パラメータ保存/読出/初期化」メニューから、「再起動実行」をクリックします。

※ボードの再起動により、UPS 本体の出力に影響はありません。

IntegMonitor 等で死活監視を行っている場合、再起動中に疎通不可状態を検知する場合があります。

■ 再起動/パラメータ保存/読出/初期化 [\[ヘルプ\]](#)

パラメータ、ログをROMへの書き込みを行います。

基本的に自動的に保存されますが、書き込みが短時間に連続しないように、1度書き込むと2~5分ほど書き込みを保留しています。ボードをリセットする、UPSから抜く、といった場合に、保留されているものも全て書き込みたい場合に使用します。USBポートにUSBメモリが刺さっている場合、ログをディレクトリ¥upslog下に保存します。

パラメータ保存

パラメータの読み出しを行います。

本ボードでは設定を変更すると自動的にパラメータを保存するため、誤った設定をしても保存されます。パラメータは過去4組まで保存しておりますので、古いパラメータを読み出すことで、前の設定に戻すことができます。パラメータの初期化を行った後は4組以下になっていることがあります。なお、下記のリストはこの画面を表示した時点のものです。メールの送信等を行ってもパラメータは更新されますので、どれかを選択し、「パラメータ読み出し」を押しても、既に存在しないことがあります。その場合は再度この画面を開き、別のパラメータを選択してください。パラメータの読み出しに成功しますと、Advanced NW board IIの再起動を行います。

パラメータ保存時刻	選択
2022-04-26 11:42:17	<input type="radio"/>
2022-04-26 11:43:28	<input type="radio"/>
2022-04-26 11:46:20	<input type="radio"/>
2022-04-26 11:59:14	<input checked="" type="radio"/>

パラメータ読み出し

Advanced NW board IIを再起動します。パラメータ、ログをROMへの書き込みも行います。UPS本体の動作には影響しません。

再起動実行